

# ETC / DSSRC車載器開発 試験システム

## マイクロ料金所渋滞解消にも ニクス



RSUシミュレータ「ME9010」

電子計測機器を製造・販売するマイクロニクス（東京都八王子市、田仲克彰社長）は、ETC/DSSRC車載器試験システム「ME9000」及びRSUシミュレータ「ME9010」を開発し、このほど発売した。

ETC（有料道路自動料金收受システム）は、有料道路における料金所渋滞の解消、キャッシュレス化による利便性の向上、管理コストの節減等を図るため、2001年3月からサービスを開始し、ETCレーンが増加している。ETCは車に搭載した車載器と料金所に設置された路側機間で双方向通信を行う技術を用いており、変調方式はASK方式を採用している。

一方、DSSRC（狭域通信）システムは、今後様々な分野で利用可能となるものであり、ITS（高度道路交通システム）システムの1つとして駐車場管理や物流管理、ガソリンスタンド代金支払い等の様々な分野においての利用が期待されている。

ETCと比べて大量のデータを双方向通信する必要があるので、QPSKという変調方式を採用し4Mbpsの伝送速度を実現している（ASK方式は1Mbps）。

料金所に設置されるETC路側機（RSU）のシミュレータ装置として、これまでASK変調方式対応のものを販売してきた。このほどETC/DSSRC路側機のシミュレータ装置として、業界で初めてQPSK変調方式に対応した製品ME9010を販売。ASK+QPSK車載器の基本動作試験・動的動作試験および無線系試験を行う上で欠かせないツールとしている。

この度のQPSK変調方式を搭載したETC/DSSRC車載器用の試験システムME9000は業界初であり、OBE生体ラインおよび開発フェーズで欠かせないものである。豊富な試験項目の中から必要な項目を選択してシステムを構築する方式なので、低価格のシステムを実現することができる。

方式は1Mbps）。料金所に設置されるETC路側機（RSU）のシミュレータ装置として、これまでASK変調方式対応のものを販売してきた。このほどETC/DSSRC路側機のシミュレータ装置として、業界で初めてQPSK変調方式に対応した製品ME9010を販売。ASK+QPSK車載器の基本動作試験・動的動作試験および無線系試験を行う上で欠かせないツールとしている。

共通の特徴は次の通り。

①DSSRCシステム規格のARIB STD-T75とARIB TR-T16に準拠②ASKとQPSKの変調方式に対応し、各種モデルを揃えている③ARIB STD-T75のプロファイル9〜12に対応④無線系試験は、技術基準適合証明に係わる7項目の試験（信号送受信速度は不可）の他、変調指数（ASK）、変調精度（QPSK）、受信感度およびアイ開口率測定（ASK）ができる⑤本システム（本器）を制御し、試験結果を表示するPCソフトウェアMAS960が用意されている。

価格は、ME9000システム（ASK、QPSK搭載）が1132万円から、ME9010シミュレータ（ASK、QPSK搭載）が752万円から。